

東洋英和女学院中学部 2026年入学審査 A日程/帰国生 国語  
模範解答の誤りと採点やり直しのご報告（お詫び）

2026年2月2日に実施しました東洋英和女学院中学部（A日程／帰国生）入学審査において、国語の模範解答に誤りがあることが判明いたしました。

受験生および保護者の皆様、関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。

1) 経緯および概要

国語の設問において、外部からの指摘に基づき検証したところ、模範解答の誤りがあることが判明いたしました。

【誤りのある箇所】

問題用紙5枚目～7枚目にあたる大問二（出典：光嶋裕介『建築という対話』）

そのなかの小問二

「本文の空欄 、 にはそれぞれ反対の意味を持つ漢字一字が入ります。考えて書きなさい。」

模範解答はA：近 B：遠 とあるが、正しくはA：遠 B：近

これに伴い、全受験生の答案を改めて厳正に再採点いたしました。

2) 再採点と判定結果

再採点の結果、得点修正者はA日程28名、帰国生0名。

国語の得点修正を総合点にも反映させて改めて合否を確認した結果、追加合格者はいませんでした。

3) 原因と再発防止策

模範解答作成時に誤って入力したものがそのままになったというチェック不足が原因です。

今後はチェック体制の強化、検証プロセスの見直しを行い、再発防止の徹底に努めてまいります。

以上